



# みはら市民大学 ふれあい

第108号  
発行・編集  
みはら市民大学  
ふれあい新聞  
編集委員会  
電話 64-6868

## 学ぶことで豊かな人生を

学長 山田 恭樹

昨年度は、コロナ禍以前のよう  
な活動をする事ができませんでした。  
一年間の活動を見させていた  
だく中で、学ぶことの大切さを強  
く実感できました。人生100年  
時代と言われる昨今、自分の興味  
ある学習を粘り強く、楽しく取り  
組んでいくことが、豊かな人生に  
つながっていくことも学ぶこと  
が出来ました。

市民大学で行なわれる様々な  
行事に対しても皆さんが積極的  
に取り組まれ、そのエネルギーに  
感心いたしました。特に大学祭で  
は、学生さん一人一人の見通しを  
もった動きのおかげですばらし  
い大学祭ができました。

このような行事を通して、それ  
ぞれの教室の学びを交流できた  
ことを喜んでいきます。また、多く  
の市民の方にも市民大学の活動  
を知っていただき喜んでおりま  
す。

本年度も、これまでの活動を継  
承し、「学んで良かった」市民大  
学にしたいと思えます。それぞれ  
の教室で学生さん一人一人の学  
びがさらに充実し、その学びを交  
流できる市民大学になることを  
心より期待しております。

## 急速に発展する

「AI」時代を迎えて思うこと

院パソコンB 森島久和

最近テレビや新聞のニュース  
で度々話題になるAI、私たちの  
暮らしにかかせなくなってきた  
AI(人工知能)。

AIはコンピュータが人間  
のように考えたり学んだりする  
能力を持つことにより、医療分野  
では、病気の早期発見や診断をサ  
ポートし、画像診断を行うことで  
より正確な診断ができたりして  
います。

自動運転技術では、センサー技  
術とAIの進化で精度と信頼性  
が飛躍的に向上し、一部の都市で  
は既に自動運転車が、試験運行さ  
れています。

今後高齢者や障害者の移動手  
段として大きな可能性を秘めて  
います。

ビジネスの世界でもデータ解  
析や、需要予測などすることで経  
営戦略に重要な役割を果たして  
きています。

また、身近では、私達が使って  
いるスマートホンの音声アシス  
タントを利用して「今日の天気を  
教えて」と聞くと、AIが音声認  
識を利用して即教えてくれたり  
します。

インターネット検索ではウイ  
ンドウズのCopilot利用  
(何でも聞いて下さい)とか、チ  
ャットGPTを使って日本語で  
質問を入力するとその内容につ  
いて自然な会話が始まり回答を  
導き出してくれたりします。

Canvaの利用では、必要な  
画像が素材の中から見つからな  
いときは、作成したいイメージの  
スタイルやサイズを入力すれば  
AIが画像生成機能を利用して  
画像を生成してくれます。

パソコンもAIが搭載された、  
次世代高性能パソコンが発売さ  
れるなど、何かと身近に色々な分  
野で、AIが進化しながら私達の  
生活に大きな影響を与えていま  
す。

今後、益々必要になってくるA  
I技術の知識を学びながら適切  
に対応し、新しいことにチャレン  
ジしていく、心身ともに健康な毎  
日を過ごしていかなければいけ  
ないと思う今日この頃です。



## 楽しい旅行

院パソコンB 梶本昌代

市民大学の長期休みを利用し  
て、旅行するのが私たちの楽しみ  
である。今回は、香川から淡路島  
へ行くルートを考えてみた。自家  
用車でいくので、時間も考えず気  
ままな二人旅である。一日目は金  
毘羅山の近くで宿をとり夕食ま  
での間、金比羅山に登り金毘羅宮

でお参りをした。今回はとてつも  
ない石段が、全然苦にならず頂上  
でスキップしたいくらい爽快な  
気分だった。旅館も良くて料理も  
お風呂も最高だった。

二日目は朝一で汽船に乗船し  
渦潮を見ることにした。その日は  
波もなく渦潮の近くまで行くこ  
とができ堪能できた。二日目の宿  
は、昭和レトロ感満載の旅館。最  
初とは違いすぎてやや不満だっ  
たが、思いのほか料理が豪華で海  
鮮たちは料理されても生きてい  
てそれはもう新鮮。旅館はちよっ  
と思っただけ料理は最高だっ  
た。帰りは国営明石海峡公園によ  
った。広くて一日ではとても回り  
切れないほど大きな公園だった。  
色々な楽しい思い出を胸に家路  
についた。

## カーナビ

院パソコンB 高篠和男

レンタカー富士山一周でトラ  
ブル発生。  
柿田川公園を目的地に設定し  
て走行、「目的地に到着しました」  
のアナウンスがあるもの、そこ  
は国道1号線の真つただ中、確か  
に反対車線の向こう側に公園ら  
しきものが見える。こんな4車線  
のまん中で放り出されるのはと  
んでもない。その後は右往左往し  
ながらなんとか目的地へ。

2つ目は箱根から山中湖への  
途中で迷い込んだ。新御殿場IC  
の近くを通ることとなった。そん  
な場所があることに初めて気が  
付いた。そこでのナビ案内図と目

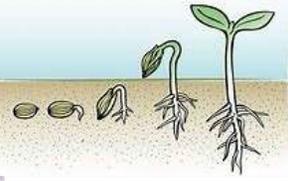
の前の道が合っていない、分岐点  
で右に行くか左に行くか標識を  
見ても見当がつかない。道路状況  
から停止もできない。山勘で左へ  
するとだんだん高速進入路の様  
相を呈してきた。引き返すと逆走  
になりそう、再度分かれ道、左へ  
行くと一般道に戻れそうな感じ、  
進んで



いくと  
いよいよ  
よ本当  
の高速  
進入路  
に合流、  
全く引  
き返し  
できな  
い。恐る  
恐る進  
むと高  
速のゲー  
トが出現、その脇に駐車  
場らしきものあり。なんと「迷わ  
れた方はこちらへ」の立札がある  
私の為に用意してあった?  
担当の方からゲート通過切符  
を支給受、ゲート通過してしば  
らく先に作業用通路があるので  
そこで反対の上り車線に移り、上  
り出口用ゲートに向かうよう指  
示あり。数百坪の新東名往復。  
やれやれ一般道へ脱出。  
(同乗者..事故なければ...)  
レンタカーの古いナビでは新  
しい道路には対応していない、綿  
密な使い方も習得できない。  
このくらいのトラブルは覚悟  
しておくべきか。事前に別方法で  
最新の経路を頭に叩き込んでお  
くべきか。

種から育てる楽しみ  
院パソコンB 横内亮三

市民大学の「草花栽培」のクラスで学んでいるが、種蒔きから花を育てる楽しみを見出した。今までは、市販のポット苗を買って育てて楽しんでいたが、クラスで種から育てる栽培法も学んだ。種から育てる場合、ポット苗を買って育てるより何倍もの手間と知識や技量が必要になる事を痛感している。特に、①非常に



小さい種の場合には、普通の用土に蒔くのではなく特殊な市販の専用種蒔きセツトを使う。それでも、なかなか



発芽しない場合がある。発芽しても全然大きくならない時もある。結果として失敗して諦めた時もある。②やつと本葉が少し出たら鉢上げをしなければならぬ。小さな苗をポットに植え付けるのは、根を切つてはならず、なかなか神経を使う③ポット苗が成長し根が十分回つたらやつと定植である。今までは、③だけをやってきた。種からになると①と②の繊細な作業が加わる。結構大変なのである。しかし、その大変さを乗り越えて、綺麗な花が咲いた時の喜びは又格別である。あの小さな小さな種から発芽した時の喜

びや生命力の神秘さには驚きを禁じ得ない。種から育てる楽しみを、この歳になつてから初めて知った。

出会い

写真 國重信子

三月、カメラを買つて練習にと筆影山へ。桜が満開で、天気が良いので、最高の撮影日和でした。同年齢くらいのご婦人が三人、お茶と串だんご、凄く絵になつていて撮らせて貰つて良いですか？直ぐにオツケー、シャッターを二〜三枚切り、送らせて頂きますので住所とお名前を、そんな出会いが後々にステキな友達になれるなんて思つてもいなかつたけれど、その中の一枚を中国新聞に投稿したところ、ラッキー！「桜も好き！でも団子も好き！」このタイトルで写つている本人たちもビックリ！凄く嬉しいと再会を誓つて待つこと数ヶ月。

三景園や空港に行つたことがないとの事、早速予定を立てて招待を。年齢も七十代から八十代半ばまで。先ずは三景園の沢山の鯉に童心に帰つて大喜び、続いてアジサイ、心癒されるとゆつくり鑑賞。その足で空港へ、飛行機の見える窓際で食事を。楽しく話が弾むその中で、皆さん其々障害をもつておられる事が分かり、それでも前向きに笑顔で日々を送るようになつておられる事。私自身元気をいただきました。次は何処にしようか？嬉しい悩みが続きます。市民大学の写真教室に入つてこのような出会い

があつて、人生楽しみが増えました。お互い元気で次の再会を約束してお別れしました。



私とSNS

健康吹矢B 門田節登

フェイスブックを始めて十年以上になります。やっさ祭りや筆影山からの瀬戸内海の眺望等、四季折々の行事や風景の写真を主に投稿しています。最近、ロマンス詐欺や、有名人を騙つた投資話等、危ない投稿も時々目にします。どこかおかしい日本語の表現、ライン等への誘導がある投稿と友達申請はすぐ削除します。アカウ

ントは一応実名制となつていますが、あまりあてにはなりません。実際の友達や知人とのみ友達になつたつもりでも、友達の友達まで閲覧が可能ですので知らない人も見えています。プライバシーの設定で、『公開』、『友達』、『自分のみ』等、投稿毎に選択出来ます。私は、『自分のみ』に設定し、投稿後に内容を再確認してから、『友達』に切り替えるようにしています。ネットの危険性に注意を払いながら、これからも続けるつもりです。私のアカウントは、Norito Kadota 私のページは、健康吹矢三原さつきです。

一度覗いて見てください。いいね！お待ちしております。

『霧の朝』



写真の説明

筆影山頂上付近から、広島県立大学方面を撮影したものです。夜明けと共に霧が晴れていきます。

青春・ゆつたり旅

院パソコンB 黒木信子

友達5人と「青春きつぷ」を利用して山陰を旅行してきました。

「青春18きつぷ」とは、全国のJRの快速普通列車を利用するものです。「旅行行程表」を作成し「保険」をかけて切符を買います。時刻表を見ながら「旅行行程表」を作成するのは大変でした。欲張り過ぎて乗り換え時間が2分しかない所もありました。いつもは、新幹線や飛行機を利用するので目的地の景色や名所しか見る事が出来ませんでした。各駅停車の列車では、朝のラッシュアワーも経験でき、途中下車した駅では地元の方が「カフェ」を運営されていて、大歓迎を受け地元の名物も頂きました。余部鉄橋「空の駅」の地上4メートルからの、日本海の美しい眺めも楽しむことができ、心が豊かになりました。旅費が余りかからなかったので宿は「湯村温泉」の一番良い宿に泊まりました。施設も綺麗で温泉も種類が多くて楽しむことができ

ました。食事も品数も多くて美味しくいただきました。話に花が咲いて、学生時代に戻つたようで楽しく過ごすことができ、思い出多い旅行になりました。

旅の思い出

院パソコンB 高橋満子

友達と、遠く北海道に旅行。きれいに整備された湖の上に立つと、以前読んだことのある、「知床」の記事を思い出しました。若々しい夏から哀愁の秋へ移りゆく知床の大自然、太古の時代より変わらぬ自然の形態を持つ知床は、動植物の楽園。大空には、メジロ・ワシ・ハヤブサが舞い、森の中には、ヒグマ・キツネ・多くの昆虫が生殖し、自然が自然らしく、動物が動物らしく生きる聖域です。そんな知床で中心的な場所となつているのが「知床五湖」。五つの湖の周りは、最も原始的な環境となつており、遊歩道も整備され自然の雄大さを自分の脚で実感することが出来ます。北国の短い夏がすぎると、色鮮やかな秋が訪れ、豊かだった木々の緑が美しさを競うかのように色づき始めます。青い空とのコントラスト、湖に映える秋の色。圧倒的なまでに豊かな自然は、その雄大さを誇るかのよう、さまざまな顔をのぞかせ訪れた私達を楽しませてくれます。今の季節、岬に自生する可憐なピンクの花「ハマナス」が見ごろを迎えています。

ふれあい新聞一〇八号は、大学院Bが担当しました、次回は大学院Cの担当です。宜しくお願い致します。